

受注企業動向調査結果

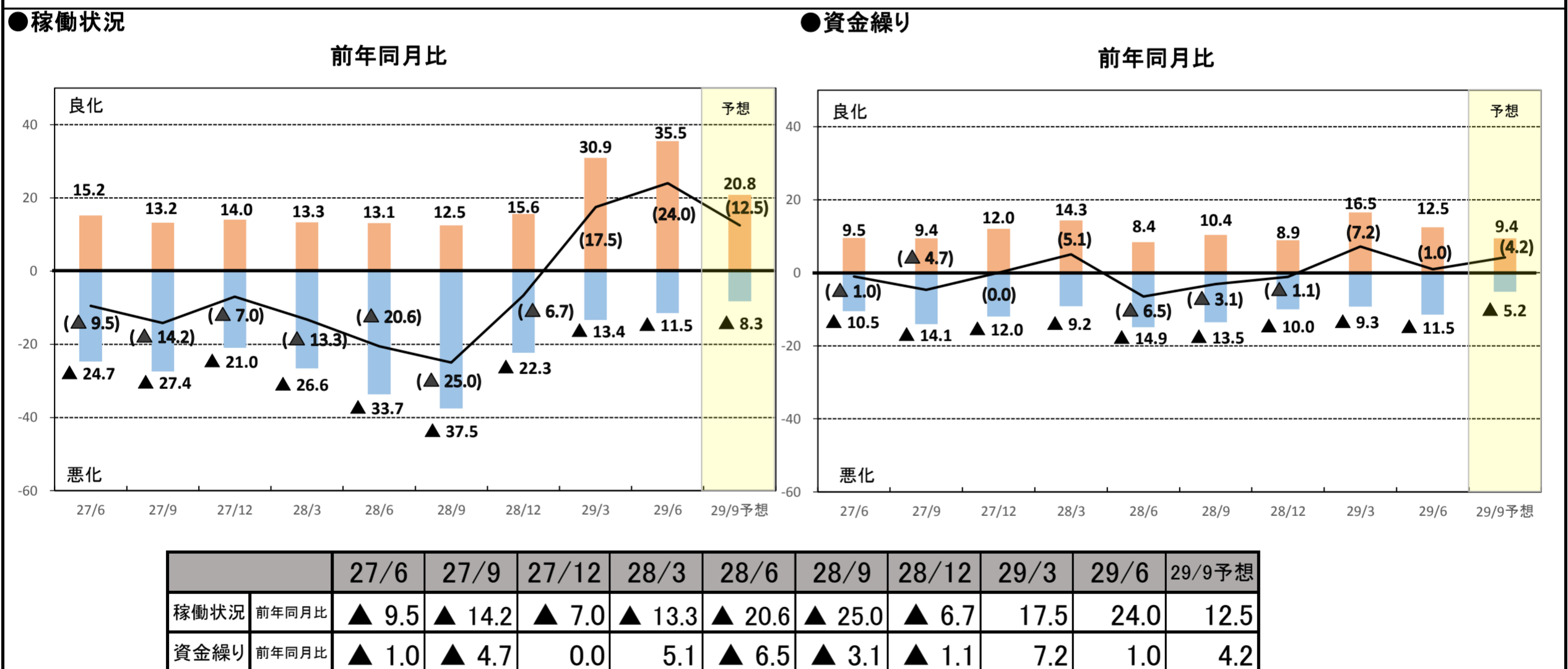
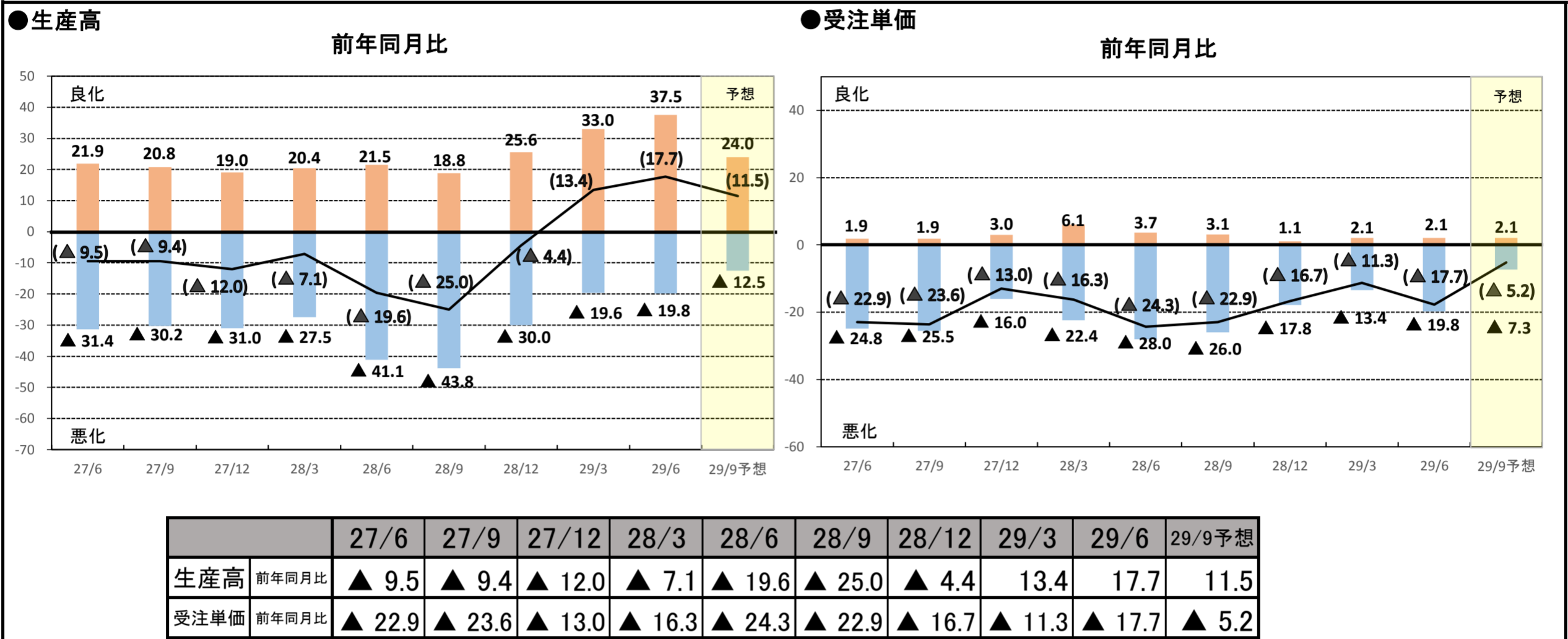
-2017.7-

- 調査時点 平成29年6月調査(平成29年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 96社(回答率:64.00%)

<業種内訳>

プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	18社
一般機械器具	24社
電気機器	18社
輸送用機器	6社
精密機器	9社
縫製	6社
計	96社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは17.7で前回の13.4から4.3ポイント増で良化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲17.7で前回の▲11.3から6.4ポイント減で悪化となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは24.0で前回の17.5から6.5ポイント増の良化となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは1.0で前回の7.2から6.2ポイント減で悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が11.5で6.2ポイント減の悪化、受注単価は▲5.2で12.5ポイント増の大幅良化、稼働状況が12.5で11.5ポイント減の大幅悪化、資金繰りは4.2で3.2ポイント増の良化という予想になった。
- ・その他自由意見として、回復傾向と答える企業がやや多い。
一方、人材不足による生産高への影響や、仕入れ単価の上昇など、今後を不安視する声も多い。